

国語

小学5年

発展編

この本の使い方と特色

この本は、小学校五年生の一学期までに学んだことから、短い期間で無理なく総合的に学習するとともに、高度な応用力を身につけることができるようにするために書かれたものです。

■ 単元の組み立て 一つの単元は、要点チェック⇒確認問題⇒練成問題の順で組み立てられています。なお、要点チェックは、それぞれの単元ごとではなく、知っていなければならない知識や、知っている文章を読みとるときに役に立つ知識の多い単元においています。

◆ 要点チェック……問題を解くときに必要な知識や、文章の内容や主題を速く正確につかむための知識が確認できるようにしてあります。

◆ 確認問題・練成問題……基本的な問題の量が多いか少ないか、本文の内容や問題が難しいか易しいか、などによって、確認問題と練成問題とに分けてあります。また、表現力を身につけるために、記述問題を多くしてあります。

目次

1 漢字	2	6 説明文(1)	22
2 物語(1)	6	7 説明文(2)	26
3 物語(2)	10	8 総合問題	30
4 物語(3)	14	● やってみよう	34
5 詩	18		

1

漢字

学習日
 /

要点チエック

(1) 次のそれぞれの組の漢字の成り立ちをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 一・中 ② 鳴・畑
- ③ 魚・鳥 ④ 姉・河
- ア 象形文字 イ 指事文字
- ウ 会意文字 エ 形声文字

①
②
③
④

(2) 次のそれぞれの組の熟語の読み方をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 屋根・着物 ② 現在・過去
- ③ 見本・場所 ④ 新芽・仕事
- ア 音音読み イ 訓訓読み ウ 重箱読み(音訓読み)
- エ 湯桶読み(訓音読み)

①
②
③
④

(3) 次のそれぞれの熟語と同じ組み立てのものをあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 国立 ② 往復
- ア 発着 イ 不満 ③ 学習 ④ 読書
- カ 登山 キ 国連 ウ 救助 エ 親友 オ 市営 ⑤ 大陸

①
②
③
④
⑤

確認問題

1 次のそれぞれの熟語は、あとのどの読み方にあたりますか。一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 役員 (2) 森林 (3) 布地 (4) 青空
- (5) 野原 (6) 身分 (7) 両手 (8) 海岸
- ア 音音読み イ 訓訓読み ウ 重箱読み エ 湯桶読み

(5)	(1)
(6)	(2)
(7)	(3)
(8)	(4)

2 次のそれぞれの熟語と読み方(音・訓)が同じものを下から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 試合 (ア 凶書 イ 現場 ウ 教育 エ 賛成)
- (2) 金具 (ア 夜店 イ 真心 ウ 内気 エ 左側)
- (3) 遠浅 (ア 岸边 イ 風雨 ウ 血液 エ 本物)
- (4) 習慣 (ア 小型 イ 絵本 ウ 手本 エ 組曲)

(1)
(2)
(3)
(4)

3 次のそれぞれの熟語、またはその一部は特別の訓読み(熟字訓)をします。その特別の訓読みをひらがなで答えなさい。

- (1) 今日 (2) 上手 (3) 一人 (4) 二十日
- (5) 川原 (6) 果物 (7) 景色 (8) セ夕
- (9) 博士 (10) 友達 (11) 眼鏡 (12) 八百屋

(9)	(5)	(1)
(10)	(6)	(2)
(11)	(7)	(3)
(12)	(8)	(4)

4 次のそれぞれの漢字の①部首の名前と、②総画数を漢数字で答えなさい。

- (1) 院
- (2) 快
- (3) 郡
- (4) 刊
- (5) 節
- (6) 発
- (7) 然
- (8) 改
- (9) 開
- (10) 包
- (11) 底
- (12) 病
- (13) 建
- (14) 顔
- (15) 殺

(15)	(13)	(11)	(9)	(7)	(5)	(3)	(1)
①	①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②	②
	(14)	(12)	(10)	(8)	(6)	(4)	(2)
	①	①	①	①	①	①	①
	②	②	②	②	②	②	②

5 次のそれぞれの組の——線部のカタカナを漢字に直して答えなさい。

- (1) 父と私はセイカクが似ている。
- (2) セイカクに判断する。

(3)	(1)
①	①
②	②
(4)	(2)
①	①
②	②

6 次のそれぞれの組の——線部のカタカナを漢字に直し、送りがないをつけて答えなさい。

- (3) ① 学問をオサメル。
- (1) ① 解決にツトメル。
- (4) ① 友達とワカレル。
- (2) ① 夏はアツイ。
- ② 国をオサメル。
- ② 主役をツトメル。
- ② 道が二つにワカレル。
- ② アツイお茶を飲む。

(5)	(3)	(1)
①	①	①
②	②	②
(6)	(4)	(2)
①	①	①
②	②	②

- (6) ① 病院のイシが不足する。
- (5) ① 書類のまちがいをシュウセイする。
- (4) ① 大雪のため交通キカンがまひする。
- (3) ① 白と黒の色の取り合わせがタイシヨウ的だ。
- (2) ① 選挙制度にカンシンを持つ。
- ② イシの強い人間になる。
- ② 夜に行動するシュウセイを持つ動物がいる。
- ② 図書の貸し出しのキカンを守る。
- ② 子どもをタイシヨウとした読みもの。
- ② 見事なプレーにカンシンする。

練成問題

1 次のそれぞれの漢字の成り立ちを、あとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 竹 (2) 花 (3) 鳥 (4) 時 (5) 本
- (6) 銅 (7) 管 (8) 月 (9) 森 (10) 紙
- (11) 魚 (12) 見 (13) 球 (14) 岩 (15) 末

- ア 象形文字
- イ 指事文字
- ウ 会意文字
- エ 形声文字

(11)	(6)	(1)
(12)	(7)	(2)
(13)	(8)	(3)
(14)	(9)	(4)
(15)	(10)	(5)

2 次のそれぞれの組み立てでできている熟語をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 似た意味の漢字を重ねたもの。
- (2) 反対または対になる意味の漢字を重ねたもの。
- (3) 上の字が下の字をかざっているもの。
- (4) 下の字から上の字へもどって読むと意味がわかるもの。
- (5) 上の字が主語、下の字が述語になっているもの。
- (6) 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの。
- (7) 長い熟語を略したもの。

- ア 飲酒
- イ 直線
- ウ 無罪
- エ 市場
- オ 思想
- カ 特急
- キ 断続
- ク 永久
- ケ 着席
- コ 熱湯

- サ 非常
- シ 貧富
- ス 人造
- セ 農協

(5)	(1)
(6)	(2)
(7)	(3)
	(4)

3 次のそれぞれの熟語と組み立てが同じものを下から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 深淺 (ア) 競争 (イ) 連続 (ウ) 河川 (エ) 勝敗
- (2) 養育 (ア) 売買 (イ) 幸福 (ウ) 生死 (エ) 集散
- (3) 注目 (ア) 新年 (イ) 小川 (ウ) 決意 (エ) 親友
- (4) 温水 (ア) 読書 (イ) 消火 (ウ) 大志 (エ) 乗馬
- (5) 地震 (ア) 都立 (イ) 美人 (ウ) 駅長 (エ) 海水

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

4 次のそれぞれのことばを漢字に直し、二つずつ組み合わせ、二字熟語を五つ作り、書いて答えなさい。(同じものは二度使えません)

- (例) たたかう・あらそう ↓ 戦争
- まなぶ ひらく たべる かんじる のぞむ
 - ねがう ならう はじめる おぼえる のむ

5 次のそれぞれの漢字の中から、意味が似ているものどうしを組み合わせ、
二字熟語を八つ作り、書いて答えなさい。

- 利 未 冷 等 善 終 永 減
- 定 寒 久 益 少 平 決 良

<input type="checkbox"/>	

6 次のそれぞれの漢字の中から、意味が反対または対になるものどうしを組
み合わせて二字熟語を八つ作り、書いて答えなさい。

- 自 増 始 貸 苦 短 他 借
- 静 楽 長 好 減 動 悪 終

<input type="checkbox"/>	

7 次のそれぞれの熟語の対義語を二字の漢字で書いて答えなさい。

- (1) 現実
- (2) 結果
- (3) 戦争
- (4) 形式
- (5) 勝利
- (6) 集合
- (7) 主観
- (8) 差別

(5)	(1)
(6)	(2)
(7)	(3)
(8)	(4)

8 次のそれぞれの熟語の類義語をあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) 短所
- (2) 賛成
- (3) 応答
- (4) 安全
- (5) 不安
- (6) 氣質
- (7) 見物
- (8) 発展
- ア 性格
- イ 進歩
- ウ 無事
- エ 観光
- オ 欠点
- カ 返事
- キ 心配
- ク 同意

(5)	(1)
(6)	(2)
(7)	(3)
(8)	(4)

9 次の①群と②群の語を一つずつ組み合わせ、四字熟語を九つ作り、①上下
の二字ずつが対義語どうしのもの、②上の二字が下の二字に働きかける形と
なっているもの、③四字のそれぞれが対等にならぶ形となっているものに分
類し、書いて答えなさい。

- ① 右往 事実
- ② 加減 油断
- ③ 秋冬、
- ④ (春夏) 適材
- ⑤ 半信 花鳥
- ⑥ 意気 左往
- ⑦ 風月 適所
- ⑧ 無根 乗除
- ⑨ 大敵
- ⑩ 半疑

	<input type="checkbox"/>		
③	②	①	

3
物語(2)
学習日 /

練成問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



(注) わん曲して||弓なりに曲がって。

縁台||屋外用の細長いこしかけ。

われしらず||思わず知らず。

曲馬団||サーカス。

モッコ||土などを運ぶ道具。

拳闘||ボクシング。

〈安岡章太郎「サアカスの馬」より〉

レヴィウ||シヨ。ビロード||毛のようになめらかな織物。
金モール||金色のかざり線。
クツワ||手綱たづなをつけるために馬の口につけた道具。花形||スター。

□(1) — 線①「それはろっ骨がすけてみえるほどやせた馬だった」とありますが、その「馬」のやせている様子を別のたとえを使って表している七字のことばを、本文中から書きぬいて答えなさい。

□(2) — 線②「思いちがい」とありますが、その内容として最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 団長の親方をひどい悪人だと思っていたこと。

イ 馬がなまけもので何もできないと思っていたこと。

ウ 年老いた馬が大切にされていると思っていたこと。

エ 観客が馬を見て喜んでよろこんでいると思っていたこと。

□(3) ※ に入る最もふさわしいことばを次から選び、記号で答えなさい。

ア 一生懸命手をたたいている

イ 地団駄じだんだふんでくやしがっている

ウ いつも通りポカンとしている

エ あきれるほど大笑いしている

□(4) 【一】に述べられている文章から、「僕」は、どんな性格の少年だと考えられますか。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア 自分の考えを押し通おさないとられないが頑固者。

イ 何をするにも目的と気力を持たないなまけ者。

ウ 他人にばかり仕事を押しつけるひきょう者。

エ かんちがいをしても気づかないあわて者。

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

U
A
M
P
K

〈小川洋子「偶然の祝福」より〉

(注) キリコさん「私」の家にいたお手伝いさんの名前。

干渉しわきから口出しをすること。

架空に実際にはない、想像で作り上げられたもの。

補充し不足をおぎなうこと。 崇高に気高くてどうということ。

□(1) — 線①「しかもそれを授けたのは自分自身なのだ」とありますが、何に何を授けたのですか。「 を授けた。」という形で、十五字以内で書いて答えなさい。(句読点をふくみます)

を	授	け	た	。
---	---	---	---	---

□(2) ※ に入る最もふさわしいことばを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 注意 イ 好意 ウ 誠意 エ 敬意

□(3) — 線②「作業に熱中している私」とありますが、ここでは具体的にどんな作業をしているのですか。「作業」に続く形で、ここよりあとの本文中から十字で書きぬいて答えなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

作業

□(4) — 線③「キャップさえ外せば、万年筆はいつでも忠実に働いた」で使われている表現の方法を何といいますか。次からふさわしいもの一つを選び、記号で答えなさい。

- ア 対句(形や内容のよくにている語句をならべる方法)
イ ぎん法(人間以外のものを人間にたとえる方法)

ウ 体言止め(文末をもの名前を表すことばで終わらせる方法)

エ 反復法(同じことばや文をくり返す方法)

□(5) — 線④「絶望して泣いた」とありますが、それはなぜですか。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

- ア 万年筆のインクを切らしてしまい、父にスイスまでインクを買いに行ってもらうことはできないと思ったから。
イ 万年筆のインクを切らしてしまい、外国製のためにインクの補充のしかたがまったくわからなかったから。

ウ お土産の万年筆を壊してしまい、父から二度とお土産を買ってきてもらえないと思ったから。

エ お土産の万年筆を壊してしまい、これでいろいろな文章を書き付けることができなくなったと思ったから。

□(6) — 線⑤「それがよみがえった」とは、何がどうなったことを表していますか。「 ようになったこと。」という形で、二十字以内で書いて答えなさい。(句読点をふくみます)

よ	う	に	な	っ	た	こ	と	。
---	---	---	---	---	---	---	---	---